

令和4年3月25日

宇治市議会議長 堀 明人 様

提出者

宇治市議会議員 中 村 麻伊子

同 西 川 康 史

請願第4-2号選択的夫婦別姓の導入を求める意見書を提出することについての  
請願に対する継続審査の動議

上記の請願に対する継続審査を下記の理由により、市民環境常任委員会に再  
付託の上、継続審査とすることを求め、宇治市議会会議規則第16条の規定に  
より提出します。

#### 記

#### 提案理由

わが国日本では、家庭は、子どもが親や家族との愛情によるきずなを形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身に付けていく場であり、家庭において夫婦が子育ての喜びを共有することで、親から子へ子育ての喜びや楽しさが伝えられることにもつながるとされている。様々な社会とのかかわりの中で子育ての楽しさを実感し、自らの生命を次代に伝えはぐくんでいくことや、家庭を築くことの大切さの理解を深めることがこれまで築き上げてきた日本の伝統的な家族制度である。

現行の夫婦同姓制度の下では姓は「個人の名称」であると同時に「家族共通の名称」であり、最高裁は平成27年同姓制度を合憲として認めた際にも日本人の姓は家族の呼称であることを認めている。

その上で、選択的夫婦別姓を導入した場合、戸籍上の「夫婦親子別氏」を認めることによって、家族単位の社会制度の崩壊を招く可能性があること、これまで民法が守ってきた「子の氏の安定性」が損なわれる可能性があること、「同氏夫婦」「別氏夫婦」「通称使用夫婦」の3種類の夫婦が出現することから混乱を招く恐れがあること等数多くの懸念事項があり、それらの懸念事項に関してより丁寧かつ詳細な審査を行う必要があることから、再度市民環境常任委員会に付託の上、継続審査を求めるものである。